

I 事業報告

1 事業の成果

平成 27 年度は、世田谷区駒沢地区を主な活動場所として、環境学習・教育事業、環境保全に関する普及啓発事業、情報収集及び情報提供事業を行った。また、前年に引き続き大阪市住之江区における活動も行った。

定例講演会は第 142 回（年度中 8 回）を迎えた。

【環境学習・教育事業】

「子ども環境カレッジ」と題し、小中学生を対象として、昨年と同様に GE カレッジホールを利用した「夏休み☆環境＋生きもの体験」を実施したのに加え、大阪市住之江区の南港野鳥園において「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」を開催し、身近な環境について体験し考える環境教育を行った。

また、一般市民を対象とした定例講演会を、世田谷区駒沢地区において 5 回、大阪市住之江区で 2 回、仙台市で 1 回開催した。なお、これらの講演会はテレビ会議システムを利用し、全国 10 か所でも聴講できる形式で開催している。

【環境保全に関する普及啓発事業】

環境保全に関する普及啓発事業としては、平成 26(2014)年度の活動をまとめた「GEC 活動報告書 2015」を作成し、会員及び観察会や講演会の参加者に配布したほか、ホームページによる情報の発信を行った。

また、いであ(株)と連携し、防災・減災学習用教材「ぼうさいキング」の普及活動を行い、販売を担当した。

【情報収集及び情報提供事業】

沖縄本島海域に生息するジュゴンの長期的な保護対策を検討するため、ジュゴン研究会を運営した。2 回の委員会を開催し、学識者からの意見聴取や対策の方向性の検討を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲 および人数	支出額 (千円)
環境学習・ 教育事業	「子ども環境カレッジ」 環境と生物に関する 室内セミナー等	8月29日(土) (13:00~17:00)	世田谷区 駒沢	29人	小学生・幼児, 保護者 (46人, 27人)	125
	「子ども環境カレッジ」 水辺公園緑地の自然観 察会	8月1日(土) (9:00~12:00)	大阪市住之江 区南港野鳥園	15人	小学生・幼児, 保護者 (21人, 14人)	53
	環境保全に関する 講演会、 セミナー、 シンポジウム等	4月27日(月) 5月25日(月) 6月29日(月) 7月27日(月) 8月24日(月) 9月28日(月) 10月26日(月) 11月24日(月) (原則 17:00~ 18:30)	4,5,7,8,9月 世田谷区 駒沢 6,11月 大阪市 10月 仙台市	5人 /1回	一般市民 (※事務局・社員・外部の総数) 207人 220人 235人 216人 201人 140人 176人 204人	631
環境保全に 関する普及 啓発事業	ホームページの運営	4月~3月	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (不特定多数)	25
	活動報告書の作成	10月発刊	世田谷区 駒沢	15人	一般市民 (発行部数 1,700)	414
	防災・減災学習教材の 制作・販売	7月~3月	世田谷区 駒沢	2人	一般市民 (不特定多数)	5
情報収集及 び情報提供 事業	ジュゴンのモニタリン グに関する技術開発	9月,3月	世田谷区	6人	ジュゴン生態研究 者	443
	「神奈川県河川のモニ タリング調査」へのサ ーバー提供	4月~3月	世田谷区 駒沢	2人	主に神奈川県民 (50人)	0

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 および予定人数	支出 (千円)
	実施せず					

NPO 法人 地球環境カレッジ 平成 27 年度開催事業一覧

日 時	事 業	備 考
4 月 27 日(月)	●第 135 回（平成 27 年度第 1 回）定例講演会 『地域と連携した藻場再生、新しい海藻養殖の取り組み』	前川 行幸先生 （三重大学大学院生物資源学研究所 特任教授）
29 日(祝)	○身近な自然観察会支援(横浜市)	小学校保護者協力
5 月 26 日(月)	●第 136 回（平成 27 年度第 2 回）定例講演会 『海底鉱物資源開発に伴う環境影響評価 - SIP のめ ざす実用化と国際標準化について -』	福島 朋彦先生 （国立研究開発法人海洋研究開発機構 海底資源研究開発センター 調査役）
6 月 1 日(月)	※平成 27 年度（第 12 回）通常総会	
29 日(月)	●第 137 回（平成 27 年度第 3 回）定例講演会 『川と海の窒素・リン・有機物（COD）』	藤原 建紀先生 （京都大学 名誉教授・いであ技術顧 問）
7 月 27 日(月)	●第 138 回（平成 27 年度第 4 回）定例講演会 『日本川国論：ざわめく自然を求めて』	森 誠一先生 （岐阜経済大学 教授）
8 月 1 日(土)	○子ども環境カレッジ 「身近な生きもの探検隊 in 南港野鳥園」	大阪南港野鳥園 35 名参加（小人 21, 大人 14）
24 日(月)	●第 139 回（平成 27 年度第 5 回）定例講演会 『今日の環境影響評価制度の課題と展望 - 火力発 電, 風力発電を中心に -』	田中 充先生 （法政大学社会学部長／教授）
29 日(土)	○子ども環境カレッジ 「夏休み☆環境+生きもの体験」	GEC ホール 73 名参加（小人 46, 大人 27）
9 月 28 日(月)	●第 140 回（平成 27 年度第 6 回）定例講演会 『バイオマスからの水素製造技術と技術開発動向』	松井 徹先生 （東京ガス株式会社 ソリューション 技術部 マネージャー）
28 日(月)	△第 3 回ジュゴン保護対策委員会（京都市）	ジュゴン研究会
10 月 26 日(月)	●第 141 回（平成 27 年度第 7 回）定例講演会 『水インフラを核とした未来志向型社会イノベーシ ョン』	大村 達夫先生 （東北大学未来科学技術共同研究セン ター 教授）
11 月 24 日(月)	●第 142 回（平成 27 年度第 8 回）定例講演会 『地球温暖化と高潮・高波、および地球温暖化での海 岸堤防・護岸の適応策』	間瀬 肇先生 （京都大学防災研究所 教授）
3 月 25 日(金)	△第 4 回ジュゴン保護対策委員会（東京都）	ジュゴン研究会

○環境学習・教育事業（子ども環境カレッジ）

●環境学習・教育事業（環境保全教育に関する講演会、セミナー、シンポジウム等）

◎環境学習・教育事業（身近な自然観察会支援）

◇環境保全に関する普及啓発事業

△情報収集及び情報提供事業